

大きな学び～学習発表会～

学芸行事委員会

学習発表会が11月15日（金）～11月16日（土）に行われました。各学年で発表の形式は異なりましたが、今まで学んできたこと、努力してきたことを表現しました。

展示発表では、図工の時間に作った作品を展示しました。子どもたちは、作り出す喜びを味わいながら、テーマに沿った作品を感性豊かに作りました。展示された作品をお子様と一緒に鑑賞し、どのような思いで作ったのかを聞きながら観ていただいた方もいらしたのでないでしょうか。

音楽発表では、本番に向けて朝の時間や休み時間も使って練習に励みました。友達と声や音が重なる美しさや楽しさを実感することができたのではないかと思います。本番では、音を重ねて響き渡るハーモニーを感じながら表現できるように、みんなで心を一つにして発表しました。

舞台発表では、動きや台詞、表情でメッセージを伝えられるように工夫しました。練習の過程では子どもたちは表現する喜びを感じたり、友達のよさを見つけたりしました。舞台発表を通して、それぞれの個性を生かしながら、友達とともに一つのものを作り上げる感動と心を合わせる心地よさをたくさん味わったことでしょう。

発表当日は、多くの保護者の皆様にご来校いただき、ありがとうございました。子どもたちの頑張りを温かく見守っていただき、お褒めの言葉や、盛大な拍手を送ってくださったことで、大きな充実感を味わうことができました。皆様のご協力に感謝申し上げます。

習熟度別算数少人数指導より

習熟度別算数少人数担当

本校では、学年ごとに習熟度別算数少人数指導を実施しています。習熟度別にすることにより、一人一人の実態を把握することができます。児童に必要な支援につなげられるよう、担任と情報を共有して指導に取り組んでいます。また、習熟度によっては児童同士での教え合いも活発になるため、分かったことを友達と伝え合うことで、自分の理解も深めることができます。

現在の八雲台小学校の実態としては、計算はできるものの、大切なキーワードを読み落とししたり、計算でくたびれてしまい答え方を誤ったりする傾向があります。また、作図についてもお絵描きや折り紙遊びの経験の差が空間認知や定規やコンパスなどの用具操作の差にも現われている印象です。そこで、低学年から絵や文字をかいたり、手先をたくさん使って工作をしたりする経験を算数だけでなく各教科を通して行うこと、中学年ではコンパスや分度器などの用具に使い慣れること、高学年では学んできたことを活用して、多角的・多面的に考えることを大切にしています。

楽しい算数の時間にしていくために、保護者の皆様にはお願いがあります。定規などの用具は、シンプルで使いやすいものを用意するようお願いしているところですが、イラストや色で目盛りが読み取りにくいものを使用し、授業で困っている様子を見かけることがあります。定規やコンパスなどは中学校でも使用していく用具です。管理状況や現在使用しているものが使いやすいかななどを、学期に一度は点検するようお願いします。